

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2014年11月12日
【四半期会計期間】	第44期第2四半期（自 2014年7月1日 至 2014年9月30日）
【会社名】	株式会社ジョリーパスタ
【英訳名】	J o l l y - P a s t a C O . , L T D .
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 村田 國樹
【本店の所在の場所】	東京都港区港南二丁目18番1号
【電話番号】	(03)6833 - 8833
【事務連絡者氏名】	管理部長 岩城 善之
【最寄りの連絡場所】	東京都港区港南二丁目18番1号
【電話番号】	(03)6833 - 8833
【事務連絡者氏名】	管理部長 岩城 善之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第43期 第2四半期 累計期間	第44期 第2四半期 累計期間	第43期
会計期間	自 2013年4月1日 至 2013年9月30日	自 2014年4月1日 至 2014年9月30日	自 2013年4月1日 至 2014年3月31日
売上高 (千円)	8,580,139	8,282,091	16,247,021
経常利益 (千円)	504,247	545,482	867,544
四半期(当期)純利益 (千円)	338,428	307,390	662,568
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	2,958,080	2,958,080	2,958,080
発行済株式総数 (千株)	16,114	16,114	16,114
純資産額 (千円)	4,514,337	5,045,023	4,790,386
総資産額 (千円)	11,039,154	10,860,941	10,591,310
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	21.10	19.17	41.31
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	3.00	3.50	6.00
自己資本比率 (%)	40.9	46.5	45.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	576,637	935,665	1,382,654
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	106,139	290,247	327,196
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	659,121	528,034	1,538,015
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	515,281	780,845	663,462

回次	第43期 第2四半期 会計期間	第44期 第2四半期 会計期間
会計期間	自 2013年7月1日 至 2013年9月30日	自 2014年7月1日 至 2014年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	10.03	9.54

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

1．経営成績の分析

当第2四半期累計期間（2014年4月1日から2014年9月30日）におけるわが国経済は、政府・日銀による経済・金融政策等により、設備投資の増加や雇用環境の改善が見られるなどの緩やかな回復基調となりました。しかしながら、消費動向につきましては、消費税増税前の駆け込み需要の反動や、物価上昇に伴う実質所得の低下の影響が見られるなど、依然として先行き不透明な状況にあります。

外食産業におきましては、食材価格及びエネルギーコストの上昇に加え、労働需給バランスの悪化による人件費の上昇もあり、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況のもと、当社は、「パスタならジョリーパスタ」をテーマに、パスタ専門店の魅力をよりお客様へアピール出来るよう、イタリアンの食卓を彩る豊富な品揃えと、心のこもった親切なサービスに全力で取り組んでまいりました。

商品におきましては、ほうれん草を練りこんだフェットチーネ商品の拡充を図ったほか、イタリア料理の食材として知られるセミドライトマトの旨みを生かした新商品を投入するなど、パスタ専門店ならではのおいしさを追求してまいりました。

また、テレビコマーシャルを放映し、旬の食材をふんだんに使用した季節メニューを訴求するなど、効果的な販売促進にも積極的に取り組み、売上高の拡大を図った結果、当第2四半期累計期間の既存店売上高は、前年同期比107.5%と順調に増加いたしました。なお、全店売上高につきましては、14年3月期にその他業態2店舗を閉店、残り21店舗のグループ内業態転換を行い、またその他業態5店舗をフランチャイズ契約の満了に伴い譲渡した結果、前年同期比で減収となっております。

当第2四半期会計期間末の店舗数につきましては、ジョリーパスタ業態2店舗の出店を行った結果、ジョリーパスタ219店舗、その他1店舗の合計220店舗と、前期末と比較して2店舗の純増となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高82億82百万円（前年同期比3.5%減）、営業利益5億38百万円（前年同期比8.0%増）、経常利益5億45百万円（前年同期比8.2%増）となりました。四半期純利益につきましては、税務上の繰越欠損金の解消による税額増加により、3億7百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

2．財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して、主に有形固定資産の増加2億6百万円、関係会社短期貸付金の増加1億4百万円等により、108億60百万円となりました。

負債は、前事業年度末と比較して、主に借入金の減少3億15百万円、未払法人税等の増加1億44百万円、未払消費税の増加78百万円等により、58億15百万円となりました。

純資産は、前事業年度末と比較して、四半期純利益3億7百万円等により、50億45百万円となりました。

3．キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は7億80百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は9億35百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益5億46百万円を計上したこと及び減価償却費3億45百万円、法人税等の支払額93百万円、未払消費税の増加78百万円、利息の支払額58百万円、仕入債務の増加56百万円によるものであり、前第2四半期累計期間に比べ3億59百万円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は2億90百万円となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出2億87百万円によるものであり、前第2四半期累計期間に比べ3億96百万円の支出の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は5億28百万円となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出3億円、ファイナンス・リース債務の返済による支出1億65百万円によるものであり、前第2四半期累計期間に比べ1億31百万円の支出の減少となりました。

4. 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

5. 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	45,000,000
計	45,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2014年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2014年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	16,114,000	16,114,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は100株
計	16,114,000	16,114,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2014年7月1日～ 2014年9月30日	-	16,114,000	-	2,958,080	-	330,768

(6) 【大株主の状況】

2014年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
株式会社ゼンショーホールディングス	東京都港区港南2-18-1	10,351	64.24
トヨタカローラ山口株式会社	山口県周南市新地1-6-1	544	3.38
アサヒビール株式会社	東京都墨田区吾妻橋1-23-1	180	1.12
サントリーピア&スピリッツ株式会社	東京都港区台場2-3-3	179	1.11
ジョリーパスタ社員持株会	東京都港区港南2-18-1	162	1.01
株式会社明治	東京都江東区新砂1-2-10	100	0.62
株式会社フジマック	東京都港区新橋5-14-5	88	0.55
株式会社伊予銀行	愛媛県松山市南堀端町1	60	0.38
株式会社西京銀行	山口県周南市平和通1-10-2	52	0.32
森永乳業株式会社	東京都港区芝5-33-1	41	0.26
計		11,759	72.98

(注) 当社は、自己株式を75,540株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2014年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 75,500	-	権利内容に何ら限定のない当社 における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,037,700	160,377	同上
単元未満株式	普通株式 800	-	同上
発行済株式総数	16,114,000	-	-
総株主の議決権	-	160,377	-

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式40株が含まれております。

【自己株式等】

2014年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
(自己保有株式) 株式会社 ジョリーパスタ	東京都港区港南2-18-1	75,500	-	75,500	0.47
計	-	75,500	-	75,500	0.47

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(2014年7月1日から2014年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(2014年4月1日から2014年9月30日まで)に係る四半期財務諸表について、あらた監査法人により四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2014年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2014年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	99,386	111,889
売掛金	73,633	74,115
商品	3,766	3,956
原材料	107,339	112,970
関係会社短期貸付金	564,076	668,956
その他	454,416	481,488
流動資産合計	1,302,618	1,453,376
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,520,323	2,580,905
土地	2,986,997	2,986,997
その他(純額)	1,041,645	1,187,269
有形固定資産合計	6,548,966	6,755,171
無形固定資産		
投資その他の資産	53,743	45,082
敷金	1,832,147	1,812,347
その他	853,835	794,963
投資その他の資産合計	2,685,982	2,607,310
固定資産合計	9,288,691	9,407,564
資産合計	10,591,310	10,860,941
負債の部		
流動負債		
買掛金	415,550	472,223
関係会社短期借入金	3,700,000	3,400,000
1年内返済予定の長期借入金	15,000	-
未払金	248,620	295,862
未払費用	478,488	408,567
未払法人税等	112,571	256,867
賞与引当金	98,750	112,706
その他	309,766	345,991
流動負債合計	5,378,747	5,292,220
固定負債		
資産除去債務	73,765	74,477
その他	348,410	449,219
固定負債合計	422,175	523,697
負債合計	5,800,923	5,815,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,958,080	2,958,080
資本剰余金	330,768	330,768
利益剰余金	1,531,934	1,791,209
自己株式	44,573	44,573
株主資本合計	4,776,208	5,035,484
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,177	9,539
評価・換算差額等合計	14,177	9,539
純資産合計	4,790,386	5,045,023
負債純資産合計	10,591,310	10,860,941

(2)【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)
売上高	8,580,139	8,282,091
売上原価	2,443,743	2,439,446
売上総利益	6,136,396	5,842,644
販売費及び一般管理費	5,637,938	5,304,270
営業利益	498,457	538,373
営業外収益		
受取利息	6,110	5,336
受取配当金	2,789	1,936
賃貸収入	86,567	85,068
その他	1,145	862
営業外収益合計	96,612	93,204
営業外費用		
支払利息	37,487	27,766
賃貸収入原価	52,911	52,104
その他	423	6,225
営業外費用合計	90,821	86,095
経常利益	504,247	545,482
特別利益		
投資有価証券売却益	37,596	2,673
特別利益合計	37,596	2,673
特別損失		
固定資産除却損	1,325	1,749
店舗閉鎖損失	30,264	-
特別損失合計	31,590	1,749
税引前四半期純利益	510,253	546,406
法人税、住民税及び事業税	87,588	235,577
法人税等調整額	84,236	3,438
法人税等合計	171,824	239,015
四半期純利益	338,428	307,390

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	510,253	546,406
減価償却費	384,852	345,276
賞与引当金の増減額(は減少)	11,347	13,956
有形及び無形固定資産除却損	1,325	1,529
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	-	10,400
受取利息及び受取配当金	8,899	7,273
支払利息	37,487	27,766
投資有価証券売却損益(は益)	37,596	2,673
店舗閉鎖損失	30,264	-
売上債権の増減額(は増加)	10,270	481
たな卸資産の増減額(は増加)	4,867	5,821
仕入債務の増減額(は減少)	74,156	56,672
未払人件費の増減額(は減少)	79,329	38,724
未払消費税等の増減額(は減少)	16,289	78,436
その他	38,861	80,507
小計	813,259	1,085,176
利息及び配当金の受取額	3,036	2,490
利息の支払額	76,037	58,962
法人税等の支払額	163,620	93,039
営業活動によるキャッシュ・フロー	576,637	935,665
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	270,115	287,742
有形及び無形固定資産の売却による収入	69,536	-
投資有価証券の売却による収入	179,611	6,990
敷金及び保証金の差入による支出	-	30,000
敷金及び保証金の回収による収入	127,175	22,004
その他	69	1,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	106,139	290,247
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	350,000	300,000
長期借入金の返済による支出	60,000	15,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	200,911	165,129
配当金の支払額	48,102	47,905
その他	107	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	659,121	528,034
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	23,655	117,382
現金及び現金同等物の期首残高	491,626	663,462
現金及び現金同等物の四半期末残高	515,281	780,845

【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)
給与及び賞与	2,091,030千円	1,965,091千円
賃借料	1,113,107	952,100
賞与引当金繰入額	117,840	112,706

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、下記のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)
現金及び預金勘定	307,944千円	111,889千円
現金同等物に含まれる関係会社短期貸付金 (注)	207,337	668,956
現金及び現金同等物	515,281	780,845

(注) 株式会社ゼンショーホールディングスがグループ各社に提供するキャッシュ・マネジメント・システムによるものであります。

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2013年6月13日 定時株主総会	普通株式	48,115	3.00	2013年3月31日	2013年6月14日	利益剰余金

(2) 基準日が当事業年度の開始の日から当四半期累計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2013年11月11日 取締役会	普通株式	48,115	3.00	2013年9月30日	2013年12月3日	利益剰余金

2 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2014年6月19日 定時株主総会	普通株式	48,115	3.00	2014年3月31日	2014年6月20日	利益剰余金

(2) 基準日が当事業年度の開始の日から当四半期累計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2014年11月12日 取締役会	普通株式	56,134	3.50	2014年9月30日	2014年12月4日	利益剰余金

2 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)

当社は、外食事業単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)

当社は、外食事業単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	21円10銭	19円17銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	338,428	307,390
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	338,428	307,390
普通株式の期中平均株式数(株)	16,038,562	16,038,460

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2014年11月12日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....56,134千円

(ロ) 1株当たりの金額.....3円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2014年12月4日

(注) 2014年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2014年11月12日

株式会社ジョリーパスタ

取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 戸田 栄

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 真美

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ジョリーパスタの2014年4月1日から2015年3月31日までの第44期事業年度の第2四半期会計期間（2014年7月1日から2014年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（2014年4月1日から2014年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ジョリーパスタの2014年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。